

# 会議録

令和4年11月16日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和4年度第5回定例会
開催日時	令和4年9月21日(水) 18時30分から20時まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、ギログリー江美(副会長)、荒井茂、谷関幸子、小須田厚子、海老澤裕恵、石川健、渡部國夫、小沼純子、荒井容子 職員：福所館長、國府方館長補佐(芝久保分館長)、市川事業係長(柳沢)、山本分館長(田無)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査
欠席者	中嶋太、三沢英俊、高井正
議題	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 令和4年度第3回定例会会議録(案)について(資料1)</p> <p>(2) 令和4年度第4回定例会会議録(案)について</p> <p>(3) 令和3年度公民館事業評価について</p> <p>2 主催事業について</p> <p>(1) 令和4年度公民館主催事業報告について(資料2)</p> <p>(2) 令和4年度公民館主催事業計画について(資料3)</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 行政報告</p> <p>(2) 公民館だより編集室報告</p> <p>(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告</p> <p>(4) 教育計画策定懇談会報告</p> <p>4 事務連絡及び情報交換</p> <p>(1) 東京都公民館連絡協議会委員部会第1回研修会について</p> <p>(2) 令和4年度第6回定例会の開催について 日時：令和4年10月19日(水) 午後6時30分 場所：柳沢公民館 視聴覚室</p> <p>(3) 今後の予定について</p> <p>(4) その他</p>
会議資料の名称	<p>【配布資料】</p> <p>資料1 令和4年度第3回定例会会議録(案)</p> <p>資料2 令和4年度公民館主催事業報告書</p> <p>資料3 令和4年度公民館主催事業計画書</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり(3名) <input type="checkbox"/> なし
会議内容	
<p>1 審議事項</p> <p>(1) 令和4年度第3回定例会会議録(案)について(資料1)</p> <p>●令和4年度第3回定例会会議録(案)について承認</p> <p>(2) 令和4年度第4回定例会会議録(案)について</p> <p>●令和4年度第4回定例会会議録(案)については、各自内容を確認し、1週間以内を目処に修正意見を公民館に送ることとする。</p>	

### (3) 令和3年度公民館事業評価について

- 令和3年度公民館事業評価の二次評価案については修正意見なし。配布案で最終決定とする。

## 2 主催事業について

### (1)令和4年度公民館主催事業報告について(資料2)

#### ○A委員

夏休み中に実施された親子講座「谷戸セミナーⅤ セミの羽化観察会」(谷戸)と親子で楽しむ講座「プラネタリウムシアター 親子で聴きたい宇宙のはなし」(ひばりが丘)は、とてもよい取り組みだと思う。親子講座(谷戸)については、夜間の開催だったので両親そろっての参加が3組もあったとある。また、参加者がセミの羽化を観察できるように、事前の下見をして観察スポットやルートを決めるなど丁寧な取り組みがされている。そのような準備があったから、参加者は直接、羽化を観察することができ、感動を得ることができたのだと思う。この時間帯だと働いている方も参加可能なのだと思う。親子で楽しむ講座(ひばりが丘)も、子どもだけでなく大人からもよかったという感想がある。引き続き、夏休み期間中等、親も参加可能な時期に親子を対象とした事業に取り組んでほしい。

#### ○B委員

レイチェル・カーソンは、高齢者が子どもと一緒に自然観察をすると生き生きとした感性がよみがえるということを行っているが、セミの羽化観察はそのような感覚なのではないか。このことを意識して、親子だけでなく祖父母と孫でも参加できるような呼びかけを行って実施するとよいと思う。上映会「16 ミリフィルムで見るドキュメンタリー映画『阿賀に生きる』」(ひばりが丘)について、よいドキュメンタリーを見るだけでなく、視聴後に語り合うことで刺激を受けるので、各館で取り組むとよいと思う。

#### ○C委員

報告書を読んで、質の高い講座が行われていて素晴らしいと思った。親子講座(谷戸)について、夜間開催の講座だったので谷戸公民館近隣からの参加が多いと思うが、どの地域から参加しているか教えていただけるとありがたい。上映会「16 ミリフィルムで見るドキュメンタリー映画『阿賀に生きる』」について、担当の考察に「幅広い世代が関心をもつテーマで活発な意見交換による交流の機会を今後も提供したい」とあるが、昨今の状況から平和をテーマにした題材を扱ってもよいのではないかと思った。

#### ○分館長(谷戸)

親子講座(谷戸)について、正確な地域は本日把握できていないが、ほとんどの方は徒歩、自転車に来ていたと思う。

#### ○D委員

多文化カフェ「カデイザさんが語るムスリムの暮らし」(保谷駅前)について、ボランティアによる日本語教室の見学など、発展もあり、とてもよい取り組みだと思う。どういう世代の方が参加されたのか。

#### ○分館長(保谷駅前)

高齢者に偏らず、幅広い世代の参加があり、バランスがとれていた。

#### ○A委員

多文化カフェ(保谷駅前)の報告書の備考欄に施設見学から仲間づくりへとあるが、受講者の仲間づくりか。

#### ○分館長(保谷駅前)

講座終了後、施設見学等を行い、受講者の交流を深めていくことを考えている。

#### ○B委員

多文化カフェ(保谷駅前)では、ミャンマーについても触れたか。

#### ○分館長(保谷駅前)

講師がロヒンギャ難民であり、ミャンマーの政治状況やロヒンギャ難民の問題にも言及していた。

## (2)令和4年度公民館主催事業計画について(資料3)

### ○D委員

子育て中の女性のための講座(保育付き)「10年後の私、きらめいて～凛としてより自分らしく～」(芝久保)について、平日の昼間に開催されるが、計画書に「女性が仕事と家事・育児の両立に対し、不安や疑問に感じていることを参加者同士で共有」とある。昼間、家にいる女性や育児休業中の女性を対象としているのか。就労中の女性参加は難しいと思われる。

### ○分館長(芝久保)

現在、学習支援保育は月曜日から金曜日の平日のみ実施している。そのような制約がある中で実施する講座である。

### ○A委員

子育て中の女性のための講座(芝久保)について、全9回のうち土曜日開催の1回が男性向けとして企画されている。この回は保育が付かないが、一般向けに広報するのか。女性の課題をとらえているが、講師が多く、ほぼ毎回、講師が変わるが、課題を深める上で難しさもあるのではないかと。講師の話を聴くだけでなくグループトークを中心に進めるのか、講座の構成を知りたい。

### ○分館長(芝久保)

土曜日開催の回については、講座参加者のパートナーも含めて、公開講座として募集をかける。各回、テーマが異なるが、講師の話を聞くだけでなく、参加者同士が話し合う時間も設けて進めていく。

### ○B委員

女性対象講座の受講者のパートナーが参加した実践事例はあるか。

### ○分館長(田無)

夏休み小学生親子講座「落合川の観察会と壁面水族館づくり」(田無)には父親も参加している。令和元年度には、父と子を対象とした料理講座を行ったことがある。

### ○B委員

親になることや子育てに不安感を持つ学生がいる。結婚する前、親になる前の人を対象とした子育てについての講座の実施を考えられないか。

暮らしに役立つ実学講座「食品ロスに取り組もう」(芝久保)について、講師がオンライン参加の理由を知りたい。

学齢期の子どもがいる人のための講座「子どもたちのココロとからだを育む《性と生》親子のはなし」(柳沢)について、性の多様性も含めて、思春期の性に焦点をあてることは大事。

インクルーシブな社会をめざす講座「ボッチャでなかまづくり」(谷戸)について、広く一般を対象としているが、障がいのある人も臆せず参加する仕掛けがあるとよい。

高齢者の課題を考える講座“「自分ごと」から始める認知症理解(仮)”(ひばりが丘)について、認知症をテーマに取り上げることが大事。

### ○分館長(芝久保)

暮らしに役立つ実学講座(芝久保)について、講師が遠方に住んでいるため、オンラインを条件に講師を引き受けていただいた。

### ○E委員

学齢期の子どもがいる人のための講座(柳沢)について、難しく深い問題なので、4回で終了するのは無理なのではないか。一方的な講義ではなく、参加者同士の丁寧な話し合いが必要。

### ○事業係長

本講座は昨年度の講座参加者有志と準備会を開いて企画した。参加者同士の話し合いをしながら進めていく予定。

### ○E委員

どこを着地点にするかが課題だと思う。

### ○事業係長

何を着地点にするかについては、事前に明確な答えは持たずに学び、話し合う中で決まっていってことを想定している。

○A委員

準備会方式、実行委員会方式の事業については、計画書に項目をつくり一目でわかるようにした方がよいと思う。

学歴期の子どもがいる人のための講座（柳沢）について、「排泄学や日常の暮らしの中の捉え方から性教育のあり方を理解する」とあるが、人は乳児の時から高齢期まで排泄で人とかわる。排泄はいかに人間らしい生活をしていくかの根本。性教育はその先にある。排泄の問題は、人とのかわり方の問題が集約される。講座の中で取り組んでいただくと嬉しく思う。

○事業係長

講座担当は、性教育だけを取り出して考えるのではなく、日常の暮らしの中で、その中のひとつとして考えていくことを大切にしたいと考えている。

○B委員

性の商品化がクローズアップされ、性教育が推進された時期があり、その後、学校での性教育が問題視されるようになった。男女の恋愛などがかわってくる思春期に、子どもたちが性をどのようにとらえるか。人間として育てていく上で、愛情を獲得していく大切な時期であり、教育的配慮が必要。親が人間の発達と思春期の課題をとらえる時に、性への興味は人間の発達においてどう位置づけるのかという視点から深い教育論を展開してほしい。

○E委員

防災講座「おうち防災のススメ」（芝久保）について、芝久保地域での防災の課題としてはどのようなことがあるか。

○分館長（芝久保）

本講座は近隣の学校の避難所運営協議会や自治会等、地域の方たちと準備会を開き、企画した。

○E委員

道路での交通事故や誘拐等の事件も一つの災害だと思う、防災は地震等だけでなく、交通事故や事件など、子どもたちの身近に起こることも含めた防災・防犯を考えた方がよい。

### 3 報告事項

#### (1) 行政報告

○公民館長

市議会定例会の一般質問の中で「市民の居場所、サードプレイスと公民館活動について」という質問があった。社会福祉協議会のイベントで田無公民館主催講座から生まれた「わいわいネット」という団体の子ども食堂等の活動を知り、感銘を受けての質問だった。教育長答弁では、公民館はサードプレイスのひとつであると認識しており、つどう・まなぶ・つなぐをキーワードに地域住民の学びの場として利用されていること、リニューアルオープンした田無公民館には学習コーナーを設けたり、Wi-Fiをつないだりして、今まで利用していただけなかった方たちにもアプローチしていきたいこと等を伝えた。

決算特別委員会の中では、二つの質問があった。一つは公民館のトイレの洋式化について。公民館全体の洋式化率は約90%で、ひばりが丘公民館の洋式化が遅れていることが課題であり、令和2年度に陳情も出された同館のトイレの改修については、他の優先度の高い工事があったため取り組めていないことを答弁した。もう一つは公民館の職員体制について。会計年度任用職員（公民館専門員）と正規職員が連携しつつ運営をしていること、中央館である柳沢公民館には正規職員が複数配置されているので、分室や分館のフォローをしていることを答弁した。

田無公民館の夏休み小学生親子講座「落合川の観察会と壁面水族館づくり」の壁面水族館について、タウン通信と東京新聞で紹介された。担当職員が新聞社等に情報提供したことがきっかけとなっており、広報活動の重要性を再認識した。今後、地域コミュニティツール「ピ

アッザ」等も活用して広報を充実させていきたい。

**(2) 公民館だより編集室報告**

- 担当委員より8月2日(火)開催の編集室会議について報告。

**(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告**

- 担当委員より報告。

**(4) 西東京市教育計画策定懇談会報告**

- 担当委員より8月26日開催の第2回懇談会について報告。各年代についてアンケート調査とヒアリングを実施する。

**4 事務連絡及び情報交換**

**(1) 東京都公民館連絡協議会委員部会第1回研修会について**

- 研修会参加者を確認

**(2) 令和4年度第6回定例会の開催について**

日時：令和4年10月19日(水)午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室

**(3) 今後の予定について**

- 事業係長より、今後の予定について連絡